

栽培実験計画書

栽 培 実 験 名	ほ場条件下における遺伝子組換えダイズとツルマメとの自然交雑
実施独立行政法人・研究所名	独立行政法人 農業環境技術研究所
公 表 年 月 日	平成17年5月18日
1. 栽培実験の目的、概要 (1) 背景及び目的 学識経験者で構成される「生物多様性影響評価検討会」は、「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律（平成15年法律第97号。以下「カルタヘナ法」という）」に基づき第一種使用規程の承認申請のあった除草剤耐性遺伝子組換えダイズの生物多様性影響について検討し、生物多様性に影響を及ぼす恐れはないと判断している。しかしながら、東アジアに固有で栽培ダイズの祖先と考えられるツルマメは、栽培ダイズと交雑が可能であることから、本検討会ではダイズとツルマメとの交雑性や本組換えダイズとツルマメとの雑種後代の適応度等に関する科学的知見の充実を図るため、公的機関による遺伝子組換えダイズとツルマメとの自然交雑率及び雑種後代における当該組換え遺伝子の適応度等の情報収集を図ることが要請された。本研究では、日本において栽培が承認されている除草剤グリホサート耐性遺伝子組換えダイズを栽培し、ほ場条件下におけるツルマメとの自然交雑率を、組換えダイズからの距離との関係で調査することを目的とする。平成17年度は、次年度以降の試験の実施に向けて、組換えダイズとツルマメの開花期の同調性を確認する。また、交雑個体を判別するために交雑種子から養成した幼植物の形態的諸特性を検討する。 (2) 概要 除草剤グリホサート耐性遺伝子組換えダイズ、ツルマメ（農環研構内の自生個体からの採取種子）およびエンレイ（非組換えダイズ）を供試して、農業環境技術研究所の一般試験ほ場に、平成17年5月20日から7月20日の期間中に数回に分けて播種し（組換えダイズは6月20日以降に播種）、11月まで栽培する。本年度は、播種日の違いによる遺伝子組換えダイズとツルマメの開花期間の変動を調査し、次年度以降の試験の基礎データとする。また、組換えダイズとツルマメを隣接して栽培し、組換えダイズとツルマメとの自然交雑種子を得る。	
2. 使用する第一種使用規程承認組換え作物に関する事項 (1) 作物の名称 除草剤グリホサートに耐性を持つ組換えダイズ（40-3-2 系統） (2) 第一種使用規程の承認取得年月日等 組換えダイズ（40-3-2 系統）は、カルタヘナ法に基づく第一種使用等を申請中であるが、平成8年3	

月29日に「農林水産分野等における組換え体利用のための指針」に適合している旨の農林水産大臣の確認を受けており、また、カルタヘナ法附則第2条第3項に基づく経過措置により第一種使用等に係る承認がなされたものとみなされている。

(3) 食品安全性承認作物又は飼料安全性承認作物の該当性

組換えダイズ(40-3-2系統)は、平成13年3月30日に食品衛生法に基づく食品としての安全性が、平成15年3月27日に飼料安全法に基づく飼料としての安全性が確認されている。

3. 栽培実験の全体実施予定期間、各年度の栽培開始予定時期及び栽培終了予定時期

(1) 全体実施予定期間

平成17年－19年

(2) 平成17年度の栽培開始予定時期及び栽培終了予定時期

平成17年5月－6月 ツルマメ播種

平成17年6月－7月 組換えダイズ播種

平成17年7月－9月 開花、生育調査

平成17年10月 ツルマメ種子収穫

平成17年11月 すき込み(栽培終了)

(参考) 平成18、19年度の予定

ほ場条件下で組換えダイズとツルマメを栽培し、ツルマメと組換えダイズとの交雑率調査を行う。

4. 栽培実験を実施する区画の面積及び位置(研究所等内の区画配置関係)

(1) 試験ほ場の面積 規模: 15 a

(2) 試験ほ場の位置: 別添1参照

5. 同種栽培作物等との交雑防止措置に関する事項

交雑防止措置の内容

組換えダイズは、周辺の試験栽培されているダイズから10m以上離して栽培する。

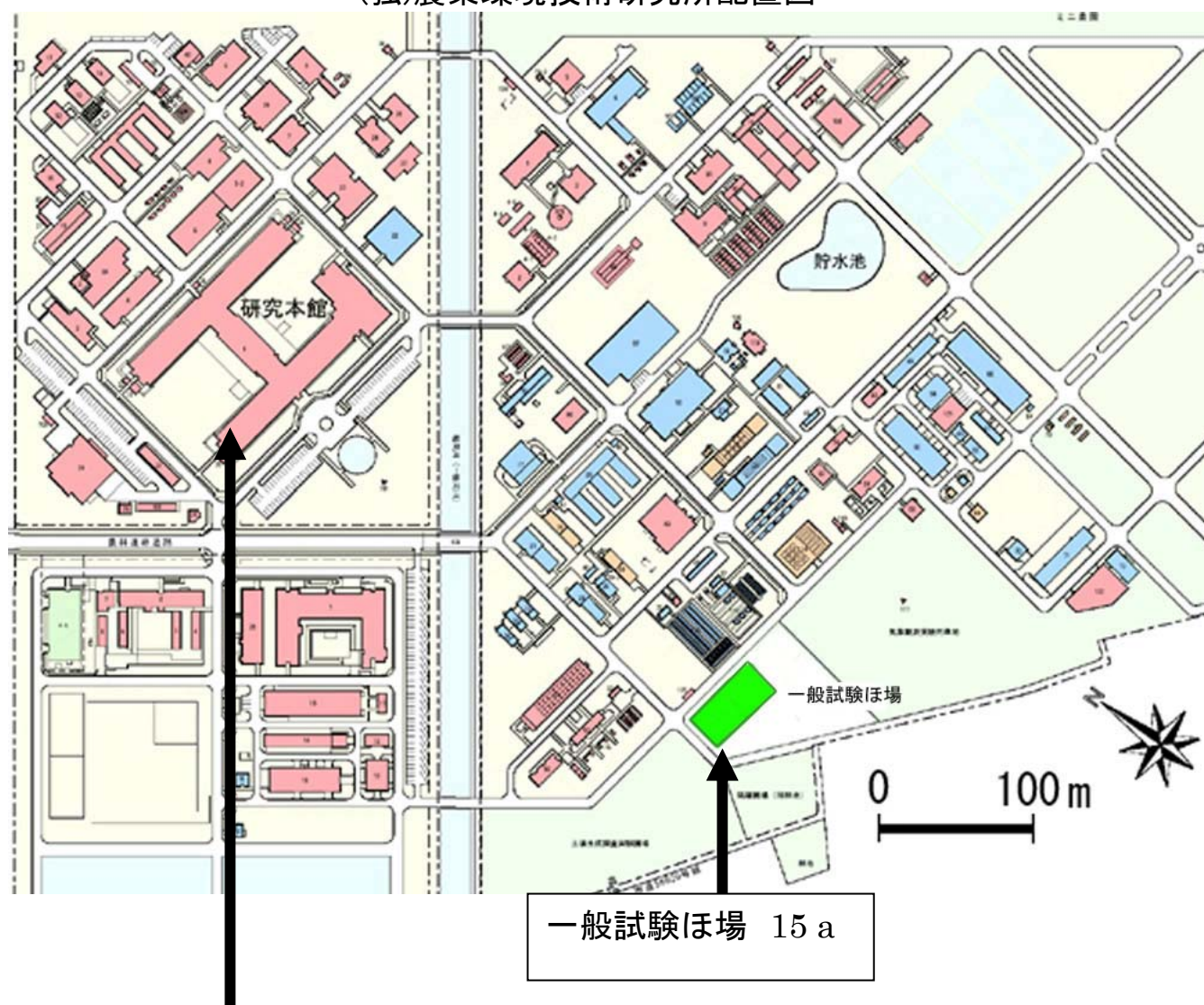
6. 研究所等の中での収穫物、実験材料への混入防止措置

- ① 実験材料を種子貯蔵庫から試験ほ場まで搬出する際には、こぼれ落ちないように袋に入れて搬出する。
- ② 播種後に防鳥ネットをかけて鳥害を防ぐ。

③ 実験の過程で行う調査及び管理作業、収穫作業に使用する機械は、使用後付着した土壌や種子等を実験区画内で払い落とす。 ④ 登熟期には防鳥ネットをかけて鳥害を防ぐとともに、落下したダイズ、ソルマメの種子が再生しないように、試験ほ場全面にマルチなどを施し、落下種子は回収して不活性化する。
7. 栽培実験終了後の第1種使用規程承認作物処理等 ① 実験後の植物体は全ての分析終了後、焼却あるいは速やかに実験区画にすき込む。
8. 栽培実験に係る情報提供に関する事項 ① 説明会等の計画 平成17年5月18日：栽培実験計画書の公表 平成17年6月 4日：栽培実験に係る説明会 場所：独立行政法人 農業環境技術研究所 大会議室 時間：13：30～15：30 その他、栽培実験実施中に、随時見学を受け入れることも可能。 ② その他の情報提供 栽培実験の実施状況については、当研究所ホームページ (http://www.niaes.affrc.go.jp/) で情報提供を行う。 ③ 本栽培実験に係る連絡先 独立行政法人 農業環境技術研究所 企画調整部研究交流科 電話番号 029-838-8184 メールアドレス coord@niaes.affrc.go.jp

試験を実施する区画の位置と面積(別添1)

(独)農業環境技術研究所配置図



(独)農業環境技術研究所本館